

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第1回行田市郷土博物館協議会
開 催 日 時	平成30年8月22日（水） 開会：午前10時00分 ・ 閉会：午前11時10分
開 催 場 所	郷土博物館2階 会議室
出席者（委員） 氏 名	秋元伸浩 篠田豊和 重田正夫 大澤恵子 柿谷明美 鈴木征子 若松良一 大山能則 板垣時夫 堀秀雄
欠席者（委員） 氏 名	欠席者なし
事 務 局	生涯学習部長 吉田悦生 館長 吉田明夫 副館長 鈴木紀三雄 主査 浅見貴子 主事 澤村怜薫 岡本夏実
会 議 内 容	平成30年度上半期事業報告 平成30年度下半期事業計画 その他
会 議 資 料	平成30年度第1回行田市郷土博物館協議会次第 平成30年度第1回行田市郷土博物館協議会資料
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人なし

発 言 者	会 議 の 経 過 (議題・発言内容・結論等)
	<ul style="list-style-type: none"> * 市民憲章唱和 * 委嘱状交付 * 生涯学習部長あいさつ (生涯学習部長退席) * 自己紹介 * 会長・副会長選出 * 会長あいさつ * 副会長あいさつ
事 務 局 (鈴 木)	<p>議 事</p> <p>それではこれより議事に入る。進行は会長にお願いする。</p>
鈴 木 会 長	<p>議事に入る前に、本日の協議会については公開をお願いしている。公開について異存はないか。</p>
委 員	<p>公開としてよい。 (傍聴人なし)</p>
鈴 木 会 長	<p>また本日の議事については議事録を作成する予定である。議事録の最後に確認の署名を2名の方から頂戴したい。この場でどなたかにお願いしたいが、事務局より提案はあるか。</p>
事 務 局 (鈴 木)	<p>それでは、秋元委員、篠田委員にお願いしたい。</p>
鈴 木 会 長	<p>それでは、そのようにお願いする。 では、次第に従って議事に入る。始めに(1)の平成30年度上半期事業報告について事務局より説明をお願いする。</p> <p>(事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明)</p>
鈴 木 会 長	<p>ただいま事務局より説明があったが、どなたかご質問等があったらお願いします。</p>

	<p>ご質問等がないようであれば、次に（２）の平成３０年度下半期事業計画について事務局より願います。</p> <p>（事務局より、管理部門 資料を説明） （事務局より、学芸部門 資料を説明）</p>
鈴木会長	事務局より説明があったが、ご質問ご意見があったら願います。
大山委員	展覧会等への貸し出しについて、どちらの施設へ資料を貸し出すのか。
事務局 （浅見）	酒巻１４号墳出土埴輪「筒袖の男子」を江戸東京博物館に、「旗を立てた馬」を横浜市歴史博物館にそれぞれ貸し出す予定である。
鈴木会長	上半期の活動報告についてもご質問等があれば併せて願いたい。
大山委員	入館料相互割引の利用者数はどれほどであったか。また、子どもパワーアップ事業について詳細を伺いたい。
事務局 （鈴木）	入館料相互割引については、現在集計中のため後ほどご報告させていただきます。
事務局 （浅見）	子どもパワーアップ事業は小中学校を対象にした博学連携事業で、子どもたちが博物館で学ぶだけでなく、学んだことを社会に発信するノウハウを育成するという点で従来の博学連携事業と異なる試みとなっている。平成３０年度は埼玉県内で行田市立中央小学校と川越市立初雁中学校がチャレンジ校に指定され、事業を行った。中央小学校では古代をテーマにし、児童が調べたことを博物館の展示室で来館者に向けて解説するという形で発信を実践した。来年度は忍中学校がモデル校として事業を行う計画となっており、内容については下半期に県・学校・博物館等の担当者間で打ち合わせを行う予定である。
大山委員	展示室での解説時間はどの程度であったか。

事務局 (浅見)	今回は3日間にわたって実施され、中央小学校の児童75名が県立さきたま史跡の博物館と当館の2館に分かれて解説を行った。 1グループにつき1日3～4回の解説を行い、1人当たりの持ち時間は約1分であった。
板垣委員	上半期の事業報告について、川端酒造株式会社文書と横田酒造株式会社文書の仮目録作成が終了したとのことだが、資料群の概要について伺いたい。
事務局 (澤村)	第28回テーマ展「酒のくらす」の開催に先立ち、これまで拝見する機会がなかった市内の酒造関係資料を調査させていただいたところ、川端酒造・横田酒造共に古文書をご所蔵であることがわかった。今後資料を保存していくことも考え、当館で整理をさせていただきたいと申し出、借用したものである。川端酒造は幕末の安政7年創業で、今回整理した中に近世文書は含まれていなかったが、明治以降の酒造に関する帳簿等が連綿と残されており、総数は255点となっている。横田酒造は近江日野商人の出身で、昭和初期までは経営帳簿を近江日野在住の主人に送り経営管理をしていた。そのため文書は日野(滋賀県)にあったが、ここ数年で一部を行田に移していたため拝見することができた。よって行田に限らず日野にも関わりの深い資料であり、今後は日野の自治体とも協力して調査を進めていくことのできる資料である。
若松委員	第32回企画展「鷹狩と忍城」について、どのような資料を展示する予定か。
事務局 (澤村)	江戸時代は忍・鴻巣と称する地域で鷹狩が行われており、現在の行田市・熊谷市・鴻巣市・羽生市などがその地域に含まれる。そのため行田市の資料に限らず、周辺の自治体で所蔵されている工芸品や絵画資料等も展示する予定である。また、鷹狩に関わる鳥類を視覚的にわかりやすく見せるねらいで、タカをはじめとする鳥類の剥製標本を我孫子市立鳥の博物館から10点ほど借用し、展示する予定である。
若松委員	文書や絵図に限らず展示資料に工夫があるということで、非常に楽しみにしている。工芸品はどのようなものを展示する予定か。

事務局 (澤村)	徳川家康や秀忠が鷹狩に訪れた際、地域の人物に下賜したと伝わる絵画など数点を展示予定である。
大山委員	放鷹術の実演について、概要を伺いたい。
事務局 (鈴木)	今回の実演は1回で、過去に当館で実演を依頼した団体とは異なる団体に依頼している。
大山委員	実施時の安全についてはどうか。
事務局 (澤村)	実演内容を小規模なものにするなど、安全対策も含めて先方の担当者と調整中である。何事もなく執り行えるよう万全を期して実施したいと考える。
鈴木会長	博物館実習について、どのような内容で実施しているか。
事務局 (岡本)	博物館の学芸員が普段行っている業務を体験してもらう内容となっている。資料のクリーニングや整理、展示作業などを行うほか、体験学習の準備など振興事業に関する作業も行っている。
鈴木会長	実習生は行田市内出身者が多いか。
事務局 (岡本)	今年度は実習名5名のうち2名が市内出身者である。
板垣委員	下半期の体験学習会で実施予定の「足袋のオーナメントをつくろう」「ご来迎をつくろう」について、それぞれどのような内容か。
事務局 (浅見)	「足袋のオーナメントをつくろう」は、足袋をモチーフにしたクリスマス飾りを作るイベントである。前年度開催した「足袋のつるし飾りをつくろう」は、布を縫い合わせる工程があり低年齢の参加者には難しい内容になってしまったため、オーナメントは針と糸を使わず紙を糊付けするなど簡単に作れるものを検討している。「ご来迎をつくろう」は博学連携展示「むかしのくらし」の開催に合わせ、郷土玩具の制作を体験してもらう内容となっている。

<p>鈴木会長</p>	<p>「ご来迎」は江戸時代から伝わる郷土玩具で、筒の中から仏様の絵札と光背が出てくるからくりおもちゃである。</p> <p>子どもたちを対象に様々な活動が実施されており、内容の工夫に感心している。</p> <p>他に何かあるか。ないようであれば（２）平成30年度下半期事業計画についてはこれで終了する。</p> <p>次に（３）その他について事務局より願います。</p>
<p>事務局 （鈴木）</p>	<p>事務局からは特に報告事項はない。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>それでは、以上で議事は終了する。皆様のご協力で議事がスムーズに進行したことに感謝を申し上げたい。では議長をおろさせていただきます。</p>
<p>事務局 （鈴木）</p>	<p>本日は長時間にわたりご審議いただき感謝する。それでは閉会のご挨拶を副会長より願いたい。</p> <p style="text-align: center;">* 若松副会長あいさつ</p> <p style="text-align: center;">* テーマ展 展示見学</p>